

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施が始まります ～モデル地区の高齢者サロンなどで医療専門職が健康教育や相談～

1 目的

市では、健康寿命の延伸を図るため、地域における高齢者の通いの場を中心とした新たな取り組みとして、介護予防・フレイル対策や生活習慣病などの疾病予防・重症化予防を一体的に実施する仕組みを構築します。

また、KDB(国保データベース)システムなどを活用して、よりリスクの高い高齢者に対する個別的支援を行うとともに、地域の健康課題の整理・分析を行います。



2 概要

中部中学校区をモデル地区として、集団を対象に生活習慣の改善や健康意識の向上を支援する取り組み(ポピュレーションアプローチ)と、特にリスクの高い対象者に個別に改善を支援する取り組み(ハイリスクアプローチ)の組み合わせにより、効果的な疾病予防・重症化予防に取り組めます。

(1) 高齢者の通いの場等を中心とした健康教育・相談(ポピュレーションアプローチ)

ア 内容 高齢者サロンや商業施設などで医療専門職による健康教育や相談等を実施
イ 委託事業者 医療法人社団喜峰会 東海記念病院
春日井市廻間町字大洞 681-47

(2) 高齢者に対する個別的支援(ハイリスクアプローチ)

口腔機能の低下リスクのある高齢者に対し、歯科衛生士、保健師、管理栄養士が訪問等による個別的支援を行います。

3 実施時期

7月から開始予定

4 予算額

3,663千円 ※ 財源は、後期高齢者医療広域連合受託金
(主な内訳) 委託料(ポピュレーションアプローチ業務委託、システム) 3,121千円
報償費 168千円、需用費(消耗品費、印刷製本費) 245千円